

【禁忌】（次の部位には使用しないこと）

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

【組成・性状】

本品は定量するとき、過酸化水素（ H_2O_2 ）2.5～3.5w/v%を含む。添加物として、安息香酸、アセトアニリド、エタノールを含む。本品は無色透明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。

【効能・効果、用法・用量】

効能・効果	用法・用量
創傷・潰瘍の殺菌・消毒	創傷・潰瘍：原液のままあるいは2～3倍希釈して塗布・洗浄する。
外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症	耳鼻咽喉：原液のまま塗布、滴下あるいは2～10倍（耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する）希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口	口腔：口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

(1)重要な基本的注意

長期間又は広範囲に使用しないこと。

(2)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

●重大な副作用

空気塞栓 空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。



※2006年8月改訂（第3版）
2003年7月作成

貯 法：遮光した気密容器
に入れ、30℃以下で
保存

製造番号 ラベルに記載
使用期限

日本標準商品分類番号
872614

承認番号	16100AMZ00894
薬価取裁	1950年9月
販売開始	1949年1月
再評価結果	1983年4月

殺菌消毒剤



オキシドール シオエ

500mL

キャップ：PP
ボトル：PE

※製造販売元

シオエ製薬株式会社
兵庫県尼崎市潮江3丁目1番11号

販売

日本新薬株式会社
京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

③

●その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
口腔	適用により口腔粘膜刺激

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

(3)適用上の注意

投与経路：外用にのみ使用し、内服しないこと。

使用時：

- 1) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
- 3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

(4)その他の注意

長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に潰瘍の発生が認められたとの報告がある。

<ポリ>